

子どもに関する実態調査及び 「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」改定に向けたニーズ調査の実施について

◎ 趣 旨

平成30年度に予定している子どもに関する実態調査及び「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」の改定に向けたニーズ調査の実施について報告するもの

1 目 的

(1) 子どもに関する実態調査

子どもの貧困問題は、全国的に相対的貧困率が上昇傾向にある中、児童虐待、いじめ、不登校等の問題と相互に影響し合い、複合性・複雑性を有していることなどから、大きな社会問題となっており、喫緊に解決すべき重大な課題であるため、すべての子どもが夢や希望を持ち健やかに成長できるよう、総合的かつ効果的に推進するため、本市の子どもたちの生活等に関する実態を把握・分析する。

(2) 「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」改定に向けたニーズ調査

結婚から妊娠・出産・子育て、青年期までの幅広い分野にわたる施策をとりまとめた、本市の子育て・子育ての総合計画の改定に向け、社会情勢や市民ニーズを踏まえた施策検討が必要なため、広く市民ニーズを把握・分析する。

2 調査の実施方法

- ・ 子どもに関する調査と「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」のニーズ調査においては、調査項目や対象者が重複することから併せて実施する。
- ・ 子どもの貧困対策に対する取組は、その対策が教育の支援や生活の支援、経済的支援など、多岐にわたることから、子どもの貧困に係る庁内関係課が連携して、アンケート調査票の作成や配布、支援者・民間団体へのヒアリング調査などに取り組む。

○ 子育て家庭の保護者及び子どもへのアンケート調査

子どもや家庭の生活状況、地域とのつながり、さらには、経済状況や子どもが享受すべき様々な機会など、本市の子どもの実態を把握することができる調査を実施

対象者（予定）：未就学児の保護者、小学生の親子、中・高生の親子、青少年など

○ 子育て現場の支援者・民間支援団体などへのヒアリング調査

子どもたちが抱える困難な状況を客観的に把握するため、必要に応じて実施

⇒ 具体的な調査項目や対象者などは、今後、子どもの貧困対策小委員会（平成30年2月設置）の中で検討

3 事業スケジュール

平成30年6月頃～	子どもに関する実態調査等
7月頃～	アンケート等の集計・分析
下半期～	調査結果の検証、対応案の検討等

※「宇都宮市子どもの・子育て会議」において、
必要に応じて意見を伺う。